

国旗忠誠宣誓式

穴戸 和郎

皆さんは、アルゼンチンの「国旗忠誠宣誓式」をご存知でしょうか。スペイン語では“Acto de Promesa de Lealtad a la Bandera Nacional”といい、同国の教育文化において大変重要な儀式とされています。

同国では9歳の児童を対象にして全国の学校で実施される公式行事であり、そこでまさに国旗に対し忠誠を誓う宣誓を行います。国を離れて外国で暮らす児童たちは、それぞれの国にあるアルゼンチン大使館に招かれてこの儀式に参加するということで、去る11月20日木曜日に在日アルゼンチン共和国大使館でこの儀式が開催されました。本国では6月20日の「国旗の日（Día de la Bandera）」に合わせて実施されるそうですが、日程調整の都合でこの日になったとのことです。当協会からは、伊藤常務理事と筆者が臨席する機会を得ました。

この日は、東京近郊に住む児童3人（男の子1人、女の子2人）が、家族と共に参集しました。儀式では、テンポーネ大使が「国旗への忠誠を誓いますか？」と問いかけ、児童たちが「はい、誓います！」と応じて、無事終了しました。終了後は、エンパナーダとジュースで懇談。伊藤常務と筆者からは、日本に住む彼らが日亜両国の友情の担い手になってくれるようにと祈念して、両国旗をかたどったバッチをプレゼントしました。



「国旗に忠誠を誓いますか？」
「はい、誓います！」



(ししど かずろう：当協会常務理事)